

東海地震に関する専門調査会（第2回）議事次第

平成13年4月3日（水）

10:00 ～ 12:00

於：東海大学 校友会館

「富士の間」

1. 開 会

2. 資料説明

3. 審 議

4. 閉 会

（配付資料）

資料1－1：説明資料

資料2－2：参考資料

中央防災会議「東海地震に関する専門調査会」名簿

(敬称略、◎：座長、○：座長代理)

委 員	◎溝上 恵	東京大学名誉教授
専門委員	○阿部 勝征	東京大学地震研究所教授
	安藤 雅孝	名古屋大学大学院理学系研究科教授
	石橋 克彦	神戸大学都市安全研究センター教授
	入倉 孝次郎	京都大学防災研究所教授
	江頭 進治	立命館大学理工学部教授
	岡田 義光	防災科学技術研究所地震調査研究センター長
	河田 恵昭	京都大学巨大災害研究センター長
	坂本 功	東京大学大学院工学系研究科建築学専攻教授
	島崎 邦彦	東京大学地震研究所教授
	杉山 雄一	産業技術総合研究所地質調査所活断層研究室長
	中埜 良昭	東京大学生産技術研究所助教授
	濱田 政則	早稲田大学理工学部教授
	松田 時彦	西南学院大学文学部教授
	翠川 三郎	東京工業大学大学院総合理工学研究科教授
	山崎 文雄	東京大学生産技術研究所助教授

以上

内閣官房	消防庁		各省	
------	-----	--	----	--

[illegible]

阿部委員

山崎 委員

(說明書)

内閣府		
-----	--	--

出入口

開催実績と今後の予定

第1回会合（全体会合）

日 時 : 平成13年 3月14日（水） 10:00～12:00

場 所 : 東海大学校友会館「阿蘇の間」

第2回会合（地震動分析等について）

日 時 : 平成13年 4月 3日（火） 10:00～12:00

場 所 : 東海大学校友会館「富士の間」

第3回会合（震源モデルについて） 【予定】

日 時 : 平成13年 4月10日（火） 14:00～16:00

場 所 : 虎ノ門パストラル「桔梗の間」

第4回会合（震源モデルについて） 【予定】

日 時 : 平成13年 5月15日（火） 14:00～16:00

場 所 : 未 定（決定次第連絡）

第5回会合（地震動分析等について） 【予定】

日 時 : 平成13年 5月29日（火） 10:00～12:00

場 所 : 未 定（決定次第連絡）

第6回会合（震源モデルについて） 【予定】

日 時 : 平成13年 6月19日（火） 14:00～16:00

場 所 : 未 定（決定次第連絡）

第7回会合（地震動分析等について） 【予定】

日 時 : 平成13年 7月中旬

場 所 : 未 定（決定次第連絡）

テーマ : 地震動分析で用いる地盤モデルについて

※ 今後、都合により日程等の変更があります。

(参考)

「東海地震に関する専門調査会」の検討を進めるにあたって

「東海地震に関する専門調査会」の検討を進めるにあたっては、その検討課題の専門性に鑑み、大まかに、「主として震源モデルを検討する会合」と「主として地震動の分布について検討する会合」に分け、検討を行うものとする。

記

(敬称略、◎は座長、○は当該テーマについてとりまとめを行う委員)

(順不同、敬称略)

(主として震源モデルを検討する調査会委員)

- | | |
|---------|-----------------------|
| ◎ 溝上 恵 | 地震防災対策強化地域判定会会長 |
| ○ 阿部 勝征 | 東京大学地震研究所教授、座長代理 |
| 安藤 雅孝 | 名古屋大学大学院理学系研究科教授 |
| 石橋 克彦 | 神戸大学都市安全研究センター教授 |
| 入倉孝次郎 | 京都大学防災研究所教授 |
| 岡田 義光 | 防災科学技術研究所地震調査研究センター長 |
| 島崎 邦彦 | 東京大学地震研究所教授 |
| 杉山 雄一 | 産業技術総合研究所地質調査所活断層研究室長 |
| 松田 時彦 | 西南学院大学文学部教授 |
| 翠川 三郎 | 東京工業大学大学院総合理工学研究科教授 |

(主として地震動分布を検討する調査会委員)

- | | |
|---------|----------------------|
| ◎ 溝上 恵 | 地震防災対策強化地域判定会会長 |
| ○ 入倉孝次郎 | 京都大学防災研究所教授 |
| 阿部 勝征 | 東京大学地震研究所教授、座長代理 |
| 江頭 進治 | 立命館大学理工学部教授 |
| 河田 恵昭 | 京都大学巨大災害研究センター長 |
| 坂本 功 | 東京大学大学院工学系研究科建築学専攻教授 |
| 中埜 良昭 | 東京大学生産技術研究所助教授 |
| 濱田 政則 | 早稲田大学大学院理工学研究科教授 |
| 翠川 三郎 | 東京工業大学大学院総合理工学研究科教授 |
| 山崎 文雄 | 東京大学生産研究所助教授 |

以上

(参考)

「東海地震に関する専門調査会」の検討を進めるにあたって

「東海地震に関する専門調査会」の検討を進めるにあたっては、その検討課題の専門性に鑑み、大まかに、「主として震源モデルを検討する会合」と「主として地震動の分布について検討する会合」に分け、検討を行うものとする。

記

(敬称略、◎は座長、○は当該テーマについてとりまとめを行う委員)

(順不同、敬称略)

(主として震源モデルを検討する調査会委員)

- | | |
|---------|-----------------------|
| ◎ 溝上 恵 | 地震防災対策強化地域判定会会長 |
| ○ 阿部 勝征 | 東京大学地震研究所教授、座長代理 |
| 安藤 雅孝 | 名古屋大学大学院理学系研究科教授 |
| 石橋 克彦 | 神戸大学都市安全研究センター教授 |
| 入倉孝次郎 | 京都大学防災研究所教授 |
| 岡田 義光 | 防災科学技術研究所地震調査研究センター長 |
| 島崎 邦彦 | 東京大学地震研究所教授 |
| 杉山 雄一 | 産業技術総合研究所地質調査所活断層研究室長 |
| 松田 時彦 | 西南学院大学文学部教授 |
| 翠川 三郎 | 東京工業大学大学院総合理工学研究科教授 |

(主として地震動分布を検討する調査会委員)

- | | |
|---------|----------------------|
| ◎ 溝上 恵 | 地震防災対策強化地域判定会会長 |
| ○ 入倉孝次郎 | 京都大学防災研究所教授 |
| 阿部 勝征 | 東京大学地震研究所教授、座長代理 |
| 江頭 進治 | 立命館大学理工学部教授 |
| 河田 恵昭 | 京都大学巨大災害研究センター長 |
| 坂本 功 | 東京大学大学院工学系研究科建築学専攻教授 |
| 中埜 良昭 | 東京大学生産技術研究所助教授 |
| 濱田 政則 | 早稲田大学大学院理工学研究科教授 |
| 翠川 三郎 | 東京工業大学大学院総合理工学研究科教授 |
| 山崎 文雄 | 東京大学生産研究所助教授 |

以上

内閣府 地震・火山対策担当参事官補佐
渡部 元

陽春の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より地震防災行政に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

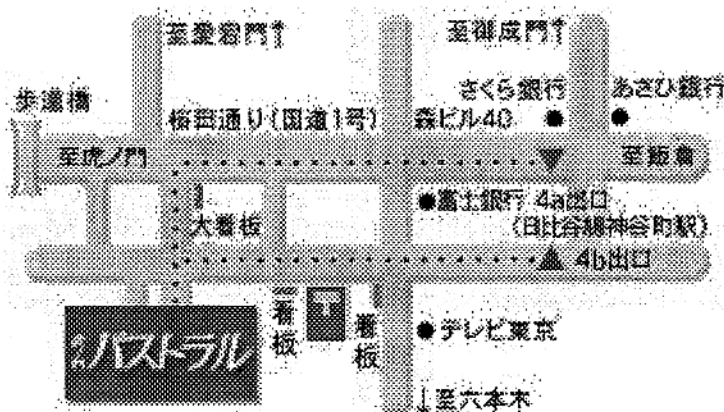
(※今回は、第1回、第2回会合と時刻・会場とも異なっておりますのでご注意ください。)

なお、会場の都合がございますので、傍聴を希望される方は、下記連絡先まで所属・氏名のご登録をお願いいたします。

日 時 : 平成13年4月10日(火) 14:00~16:00 目途

(営団地下鉄日比谷線「神谷町」4a または 4b 出口から数分)

〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-1 TEL. 03-3432-7261 (代)



(<http://www.pastoral.or.jp/>)

内閣府 地震・火山対策担当参事官付主査 富田（とみだ）

TEL : 03-3501-5693 (直通) FAX : 03-3501-5199 E-mail : htomida@op.cao.go.jp

中央防災会議「東海地震に関する専門調査会」（第3回）の御議論について

第1回調査会での御議論の一つとして、（直前予知の可能性がある、警戒宣言等の手続きが定められている、駿河灘を震源とする）東海地震と、南海地震・東南海地震との関係を考えることが重要であるとのこと指摘がありました。

そこで、溝上座長と震源モデルのとりまとめをお願いしている阿部委員と御相談し、第3回調査会（4月10日）においては、南海地震、東南海地震の取り扱いについても、御議論をお願い致したく存じます。

また、実りある議論とするために、各委員のお考えのメモや関係資料等を御提出いただければ幸いに存じますので、御提出いただける委員におかれては、4月9日（月）正午までに、事務局あてにメールやFAX等で御送付いただけると幸いです。

御意見をいただきたい点としては、以下のようなものです。一部の点についてでも結構です。また、そう考える根拠もお示しいただけますようお願いします。

その他にも取り上げるべき項目等があればメモや資料等をお寄せいただけると幸いです。

- （1）東海地震と東南海地震は連動するか。連動するとすれば、どのように連動しどの程度の可能性か。（近い将来、1つのものとしてほぼ同時に起こるか。ここで、1カ月後、1年後など、連続して起きるが社会的に同時とは取り扱えない期間のものは対象外。）
- （2）東南海地震と南海地震は連動するか。連動するとすれば、どのように連動しどの程度の可能性か。（同上）
- （3）東海地震のみでは起きないと考えられるか。
- （4）東南海地震、南海地震は直前予知できるか。（予知不能な地震があってもかまわないが、異常変動を捉えた場合には地震が発生する可能性がかなり高いものか。）
- （5）御前崎等の異常変動で東南海地震、南海地震も直前予知できるか。
- （6）東南海地震、南海地震の直前予知の可能性は東海地震に比べてどの程度の信頼度か。
- （7）観測機器を設置すれば信頼ある直前予知ができるのか。
- （8）東海、東南海、南海地震すべてについて、被害想定を行い、これを踏まえた予防、応急、復旧、復興にわたる震災対策を的確に行うこととするが、直前予知をもとに事前の避難や交通の制限等を行う地域は、直前予知の信頼性及び事前規制による個人生活や経済にとっての損失等の問題から、東海地震より拡大しないことが妥当であるという考え方についてどうか。